

アンケート調査の実施例 (需要調査・利用者アンケート調査)

■ 需要調査(沿線住民アンケート調査)

需要調査の実施例

1) 調査対象

- 検討ルート沿線住民[※]等

※住民基本台帳から、沿線の概ね 300m 以内に該当する町字より無作為抽出を想定

2) 調査方法

- 下記のいずれか、もしくは両方を想定
 - ① 対象者に調査票を郵送配布し、回答後返信
 - ② 自治会を通じて沿線住民に調査票を配布し、回答後回収

3) 調査項目と設定理由

- 運行計画案の内容を示し、利用意向等について確認
- 主な質問項目及び設定理由
 - ① 個人属性（性別・年齢・住所等）：利用者層を把握するために設定します。
 - ② コミュニティバスの利用意向：運行時に見込まれる需要を把握
 - ③ 日常の移動実態：既存の公共交通への影響を把握

問1 あなた自身についてお聞きします。

(1) 性別 1. 男性 2. 女性

(2) 年齢 1. 15～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳
4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳
7. 70～79歳 8. 80歳以上

(3) 自由に運転できる自動車の有無

1. ほぼ自分専用の自動車がある 2. 家族共用の自動車がある 3. ない

(4) ご住所 松戸市 (_____)

問2 現在、別紙の「●●地区 コミュニティバス運行計画書（案）」に基づき、コミュニティバスの導入を検討しています。利用意向をお答えください。

(1) この運行内容のコミュニティバスを利用しますか。(該当するもの1つ)

1. 利用する 2. 将来的には利用する(約 年後) 3. 利用しない

→「1または2」を回答した方は、問3へお進みください

(2) 前問で「3. 利用しない」と回答した方は、その理由をお答えください。(複数回答可)

なお、選択した回答については、() 内に具体の改善案もご記入ください。

- 1. 停留所が遠い (希望する設置場所: _____)
- 2. ルートが合わない (希望する目的地: _____)
- 3. 時間帯が合わない (希望する時間帯: _____)
- 4. 本数が少ない (希望する本数[本/時]: _____)
- 5. 運賃が高い (希望する運賃[円/回]: _____)
- 6. その他 (_____)

→問4へお進みください

■ 利用者アンケート調査

利用者アンケート調査の実施例

1) 調査対象

- コミュニティバス利用者

2) 調査方法

- 車内で直接配布・回収

3) 調査項目と設定理由

- 日常的な利用状況等を確認
- 主な質問項目及び設定理由

① 個人属性（性別・年齢・住所等）：利用者層を把握

② 実証運行の利用状況（利用目的・利用区間※・利用頻度等）：利用実態を把握

※ 利用区間については、質問項目には含めず、配布したバス停と回収したバス停を記録することで把握

③ 実証運行前後における外出回数の変化

：外出促進や地域活性化等にどの程度寄与したかを把握

調査票の例（利用者アンケート調査）

松戸市 ゆめいろバス 利用者アンケート	
以下の質問①～⑨について、 あてはまるもの1つ を折り曲げバスを降りる時に、調査員へお渡し下さい。	
①本日のゆめいろバス利用回数	②性別
1回目 2回目 3回目以上	男性 女性
③年齢	
0～9歳 10～19歳 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳	
60～69歳 70～79歳 80歳以上	
④お住まい	
【松戸市内】	【松戸市外】
●●● ●●● ●●● ●●● ●●●	市外
●●● ●●● ●●●	その他の市内
⑤今回のご利用目的	
通勤通学 買物 通院 友人知人との交流 娯楽レジャー習い事 帰宅 その他	
⑥運賃の区分	⑦運賃の支払方法
大人 小学生 未就学児 障がい者(介護者)	現金 ICカード※
⑧ゆめいろバスのご利用頻度	
ほぼ毎日 週3～4日 週1～2日 月1～2日 月1日未満	
⑨ゆめいろバスが運行したことによる外出回数の変化	
かなり増えた 少し増えた 変わらない	
—ご協力ありがとうございました—	



※ビンゴカード形式で、選択肢部分を折り曲げることで回答
 サイズはA6（105×148mm）を想定
 （上記の調査票は概ね実物大）